

**2013年3月期(FY2012)
第2四半期
連結決算報告**



大幸薬品

**2012年11月
大幸薬品株式会社**



- 対前年同期比、増収増益
- 株主還元強化に向け、自己株式取得を実施

連結經營成績

連結経営成績サマリー

➤ 医薬品事業、感染管理事業ともに堅調

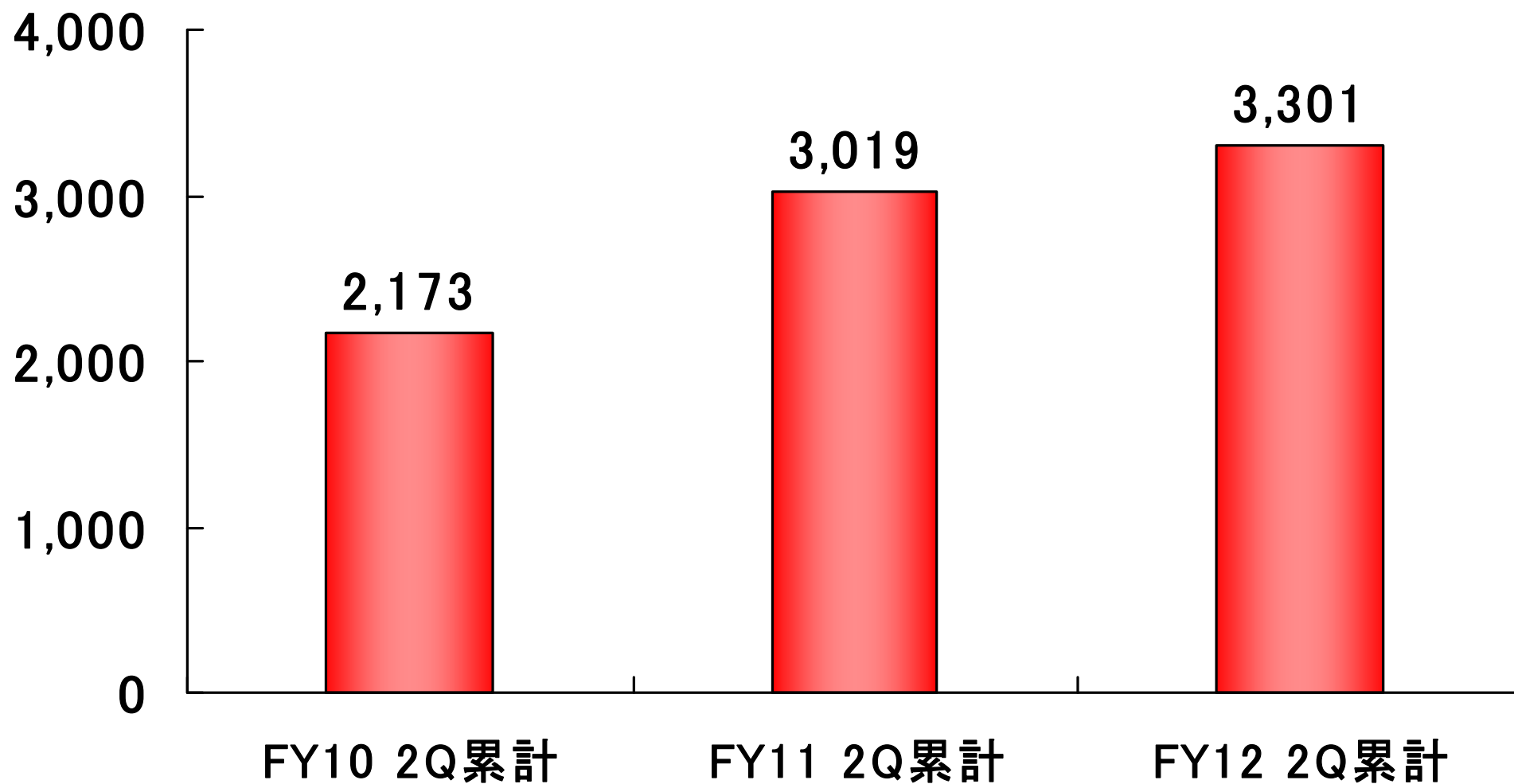
単位:百万円

	FY11 2Q累計	FY12 2Q累計	増減	増減率	増減要因等
売上高	3,019	3,301	281	9.3%	医薬品) 国内微減、海外増加 (前年同期比133百万円増) 感染管理) 一般用、業務用ともに増加 (前年同期比149百万円増)
売上原価(※) (売上高比率)	919 (30.5%)	1,158 (35.1%)	239 (4.6P)	26.0%	原価率上昇 医薬品) 前期から繰越した変動賞与引当金や 修繕費等の影響、海外向け売上高比率の上昇等
売上総利益 (売上高比率)	2,100 (69.5%)	2,142 (64.9%)	42	2.0%	感染管理) 業務用売上高比率の上昇等
販売費及び 一般管理費	1,552	1,593	41	2.7%	広告宣伝費(TVCM)やオフィス賃借料が増加
営業利益 (売上高比率)	547 (18.1%)	548 (16.6%)	1	0.2%	
経常利益 (売上高比率)	546 (18.1%)	547 (16.6%)	0	0.1%	
四半期純利益 (売上高比率)	405 (13.4%)	459 (13.9%)	54	13.3%	前2Q:特別損失140百万円計上 (退職給付制度改定損、減損損失等) 当2Q:法人税等調整額60百万円計上

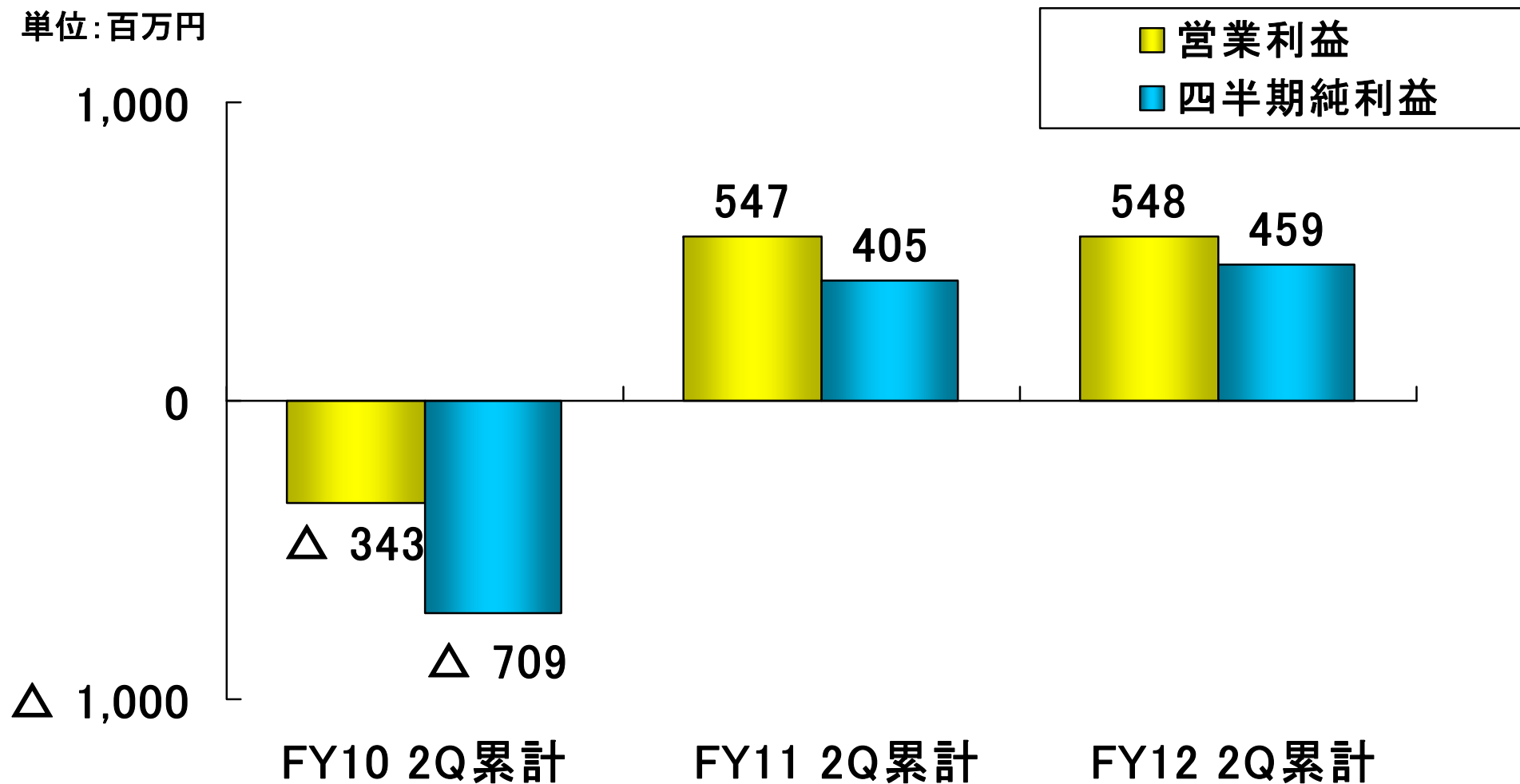
(※) 返品調整引当金計上後の売上原価

連結売上高推移

単位:百万円



連結營業利益・四半期純利益推移



販売費及び一般管理費

➤販売費等増加の一方、売上高比率は低下

単位：百万円

	FY11 2Q累計	売上高 比率	FY12 2Q累計	売上高 比率	増減	増減率	増減要因等
販売費	506	16.8%	519	15.7%	13	2.7%	
広告宣伝費	285	9.5%	312	9.5%	26	9.4%	国内/海外医薬品の新TVCM 製作・放映
販売促進費	149	4.9%	150	4.5%	0	0.4%	
運送費	71	2.4%	57	1.7%	△13	△19.5%	倉庫集約による保管料減少
人件費	609	20.2%	607	18.4%	△2	△0.4%	
その他経費	436	14.5%	466	14.1%	30	6.9%	オフィス(東京)賃借料の増加等
研究開発費	90	3.0%	82	2.5%	△8	△8.9%	
支払手数料	86	2.9%	91	2.8%	4	5.5%	
計	1,552	51.4%	1,593	48.3%	41	2.7%	

連結財政状態

➤株主還元等により現預金/総資産が減少

単位:百万円

	FY11 4Q期末	FY12 2Q期末	増減	増減率	増減要因等
流動資産	8,712	7,952	△759	△8.7%	
現金及び預金	4,661	4,081	△580	△12.4%	営業CF 1 (EBITDA 666) 投資CF △96 財務CF △464
売上債権	2,443	2,445	2	0.1%	
たな卸資産	1,352	1,227	△125	△9.3%	
固定資産	3,548	3,576	27	0.8%	
資産合計	12,261	11,529	△732	△6.0%	
流動負債	2,405	1,661	△743	△30.9%	未払金(広告宣伝費等)、 未払消費税、賞与引当金等の減少
仕入債務	387	231	△155	△40.1%	
固定負債	1,072	1,053	△18	△1.7%	
純資産	8,783	8,813	29	0.3%	自己株式増加 △281百万円 利益剰余金増加 264百万円 払込資本増加 23百万円 等
負債純資産合計	12,261	11,529	△732	△6.0%	
自己資本比率	71.3%	76.0%			

連結キャッシュ・フロー状況

▶ 上期特有の営業支出と株主還元等からキャッシュは減少

単位：百万円

	FY11 2Q累計	FY12 2Q累計	主な要因
営業活動CF	△361	1	EBITDA 666百万円 賞与引当金の減少 △271百万円 未払金の減少 △230百万円 他(未払消費税等) △155百万円
投資活動CF	△73	△96	医薬品に係る設備投資等 △122百万円
財務活動CF	△53	△464	配当金の支払 △193百万円 自己株式の取得 △285百万円
現金・同等物換算差額	△1	4	
キャッシュ増減(※1)	△491	△554	
キャッシュ期末残高	3,582	3,899	

EBITDA(※2)	670	666	営業利益 548百万円 減価償却費 117百万円
------------	-----	-----	-----------------------------

(※1) キャッシュ増減 = 営業CF + 投資CF + 財務CF + 現金・同等物換算差額

(※2) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

セグメント情報

セグメント別事業概況(連結損益サマリー)

- 医薬品事業、感染管理事業ともに増収
- 原価率上昇や人件費等の増加により、各事業の利益は減少

単位:百万円

	売上高			営業利益			
	FY11 2Q累計	FY12 2Q累計	増減率	FY11 2Q累計	利益率	FY12 2Q累計	利益率
医薬品事業	2,710	2,843	4.9%	1,272	47.0%	1,189	41.8%
感染管理事業	297	446	50.3%	△40	-	△42	-
その他事業	11	10	△9.0%	△9	-	△10	-
全社(※)	-	-	-	△675	-	△587	-
連結合計	3,019	3,301	9.3%	547	18.1%	548	16.6%

(※)全社に係るコスト(主に管理部門コスト等)

セグメント別事業概況(医薬品事業/国内)

- 1Qの主力製品落込み(3月出荷増の反動)により微減
- ただし、最需要期(2Q)の『セイロガン糖衣A』は堅調



正露丸



セイロガン糖衣A



ピシャット錠



樋屋奇応丸

製品カテゴリー別売上高

単位:百万円

	FY11 2Q累計	FY12 2Q累計	増減	増減率
正露丸	1,021	995	△25	△2.5%
セイロガン糖衣A	1,192	1,196	3	0.3%
その他(※)	91	111	20	22.6%
計	2,305	2,303	△1	△0.1%

(※) 止瀉薬『ピシャット錠』、小児五疳薬『樋屋奇応丸』、整腸薬『ラッパ整腸薬BF』等

当社の国内止瀉薬市場シェア(店頭小売価格ベース)

出所: (株)インテージ 調査データ

	FY11 2Q累計	FY12 2Q累計	増減
市場シェア(※)	52.9%	52.3%	△0.6P

(※) シェア内訳: 『正露丸』、『セイロガン糖衣A』、『ピシャット』ブランド

セグメント別事業概況(医薬品事業/海外)

➤ 中国・香港市場を中心に各市場が増加

地域別売上高

単位:百万円



正露丸



セイロガン糖衣A

	FY11 2Q累計	FY12 2Q累計	増減	増減率
中国・香港	367	452	84	23.1%
台湾	33	78	44	132.0%
その他(※)	3	9	5	136.6%
計	405	540	134	33.3%

(※) その他の対象エリア:

米国、カナダ、タイ、マレーシア、インドネシア、ベトナム、モンゴル

セグメント別事業概況(感染管理事業)

- 店頭陳列早期化により一般用は堅調
- 販路開拓進み、業務用が大幅に増加

製品カテゴリー別売上高

単位:百万円



クレベリン スプレー



クレベリン ゲル



クレベリンG スティックタイプ

	FY11 2Q累計	FY12 2Q累計	増減	増減率
液剤	33	58	25	75.6%
ゲル剤	247	291	43	17.7%
クレベリン発生機 (※1)	12	97	85	704.9%
その他 (※2)	4	△1	△5	-
計	297	446	149	50.3%

(※1) 低濃度二酸化塩素ガス発生装置

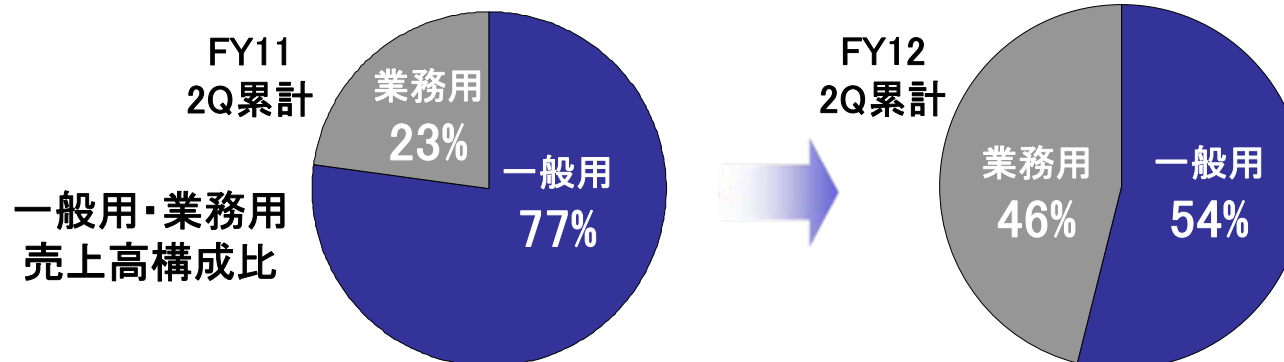
(※2) キット製品、周辺製品(マスク、ハンドジェル)



車両用クレベリン



クレベリン発生機
リスパス NEO



“業務用”製品ラインナップ

オフィス、施設、外食産業等の物体・空間除菌

液剤



クレベリンS



クレベリンL



ゲル剤



クレベリンG
スティックタイプ
1~6畳空間



クレベリンG
60g: 6~8畳空間
150g: 8~12畳空間

大型施設の空間除菌

クレベリン発生機



クレベリン発生機
リスパス NEO
~40,000m³空間



クレベリン発生機
リスパス S
~500m³空間



クレベリン発生機
AQC2000
~20,000m³空間

車両用の空間除菌



DENSO



車両用クレベリン

無人状態での
車室内除菌・消臭
(デンソーとの共同開発)

セグメント別事業概況(その他事業)

➤木酢液を配合した入浴液、園芸用木酢液等を製造販売



木酢入浴液



木酢液

製品売上高

単位:百万円

	FY11 2Q累計	FY12 2Q累計	増減	増減率
木酢製品等	11	10	△1	△9.0%

通期業績予想

通期予想に対する進捗

➤2Q累計利益は通期予想に対して堅調に推移

単位:百万円

	FY12 通期予想 (期初発表)	FY12 2Q累計	進捗率
売上高	6,500	3,301	50.8%
営業利益	550	548	99.7%
経常利益	530	547	103.1%
当期純利益	500	459	91.7%

通期予想の留意点

➤ 日中関係の動向

医薬品) 中国市場での販売影響

感染管理) 生産活動(中国からの仕入れ)への影響

➤ インフルエンザの動向

感染管理) 売上高の変動リスク(受注、期末返品動向)

➤ 追加投資の可能性(利益推移を勘案して)

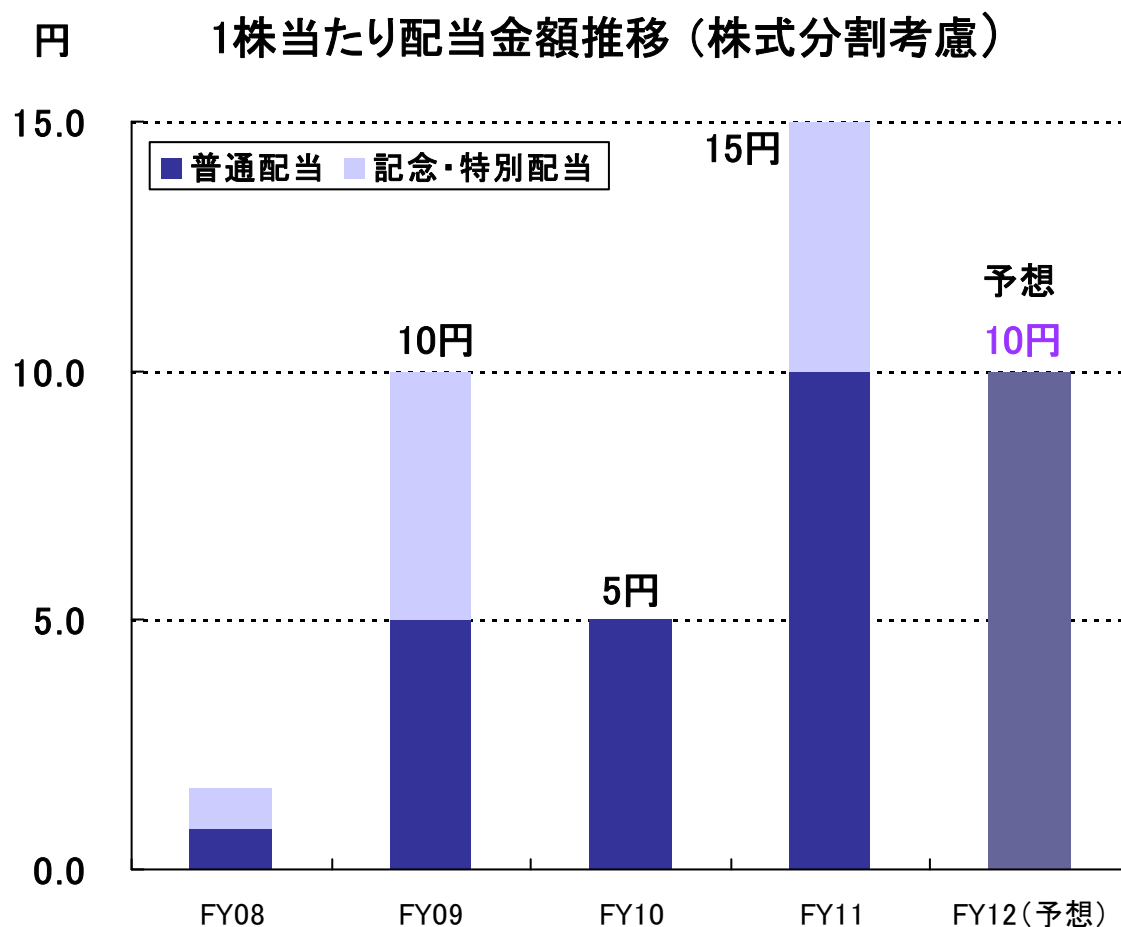
医薬品・感染管理) 広告宣伝費・販促費の追加投資

医薬品) 生産設備老朽化対策への追加投資



上記不確定要素のため、現状、通期業績予想は修正せず

安定配当の維持



自己株式の取得

取得期間 2012年6月4日～8月27日

取得方法 東京証券取引所での市場買付

	取得実績
取得株数	39万株
取得金額	281百万円

当期予想

配当性向 25% 配当総額÷純利益

総還元性向 82% (配当総額+自己株式)÷純利益



大幸薬品

＜将来情報に関する注意事項＞

当資料に記載されている将来情報は、種々の前提に基づくものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証するものではありません。